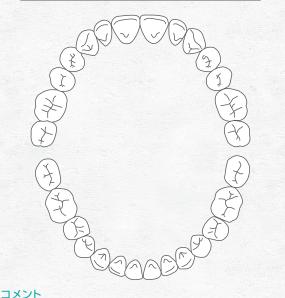
ブラッシングレシピ

お口の中をチェックしましょう

年

月

日



.....

Q.1 ハミガキ剤は使った方が良い?

A ハミガキ剤には歯の汚れをとる清掃効果に加えて、むし歯や歯周病 予防、口臭予防のために薬用成分を配合したものがあります。お口 の状態にあわせて選ぶことで効率よくブラッシングが行えます。

Q.2 ハミガキ剤の安全性は?

△ 一部飲み込んだ場合や長期間使用した場合の安全性、および歯肉、舌、口腔粘膜(口腔軟組織)や歯(歯牙硬組織)に対する安全性には十分な配慮がなされています。使用中に発疹、かゆみ等が現れた場合は使用を中止し、医師に相談してください。

Q.3 デンタルリンス(液体ハミガキ)を使うと、ブラッシングしなくてもいい?

A デンタルリンス(液体ハミガキ)の洗口だけではプラーク(歯垢)を落とすことはできませんので、必ずブラッシングを行ってください。



当医院の歯科医師・歯科衛生士にご相談ください。



セルフケアのポイント

ハミガキ剤編

お口の健康は自分で守る!



サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1

お客様相談室 0120-008241

SUNSTAR



むし歯予防には欠かせない成分

フッ素の効果

歯は、唾液や歯垢(プラーク)との間で、カルシウムの溶け出し (=脱灰)と取り込み(=再石灰化)を繰り返しています。フッ素 には、この再石灰化を促進して歯質を強化し、一方、酸の産生を 抑制することで脱灰を抑制してむし歯を予防する効果があります。

通常のお口の中



むし歯になりやすいところ





(二次う蝕) 歯肉が下がって露出 歯の詰め物などと 歯と歯の間



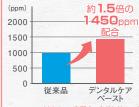


歯と歯の間 かみ合わせの溝

奥族

最大濃度のフッ素1450ppm配合 *サンスターハミガキ内

1回あたりのフッ素使用量が増えるので、むし歯リスクの高い 方へおすすめです。





※1000ppm以上のフッ素配合ハミガキ剤は、6歳未満のお子様へのご使用はお控えください。 イメージ図

効果的な使用方法

使用量

年齢によってオススメの使用量は違います。年齢に合った 使用量をこころがけましょう。

6~14歳

フッ素 ~ 1000ppm



- 1~2cm

15歳以上

フッ素 1000ppm ~ 1500ppm

すすぎ

少量の水でお口をすすぎましょう。

※ブラッシング後は30~60分程度 飲食を控えましょう。



爽快感に要注意!

◆ "みがいている" と "みがけている" は 違います。

すみずみまでしっかりブラッシングができていなく ても、ハミガキ剤を多く使うことにより、歯をみが いた気分になりがちです。

爽快感にまどわされず、すみずみまでしっかり ブラッシングを行いましょう。

ハミガキ剤をつけずに時間をか けて丁寧にブラッシングした後 に、ハミガキ剤を使って再度ブ ラッシング(什上げのブラッシン グ)をするのもおすすめです。



用途に合わせて使い分けよう

ハミガキ剤の種類

◆ ハミガキ剤の形状

- ペースト(練)
- 一般的に多く使用されている ペースト状タイプ



液状(歯間ブラシにもおすすめ) ペーストに比べ、流動性のある液状タイプ





- ●液体
- 水とほぼ同じ粘性の液体タイプ ※液体タイプは一般的に清掃剤(研磨剤)は配合されていません。

同じ形状であっても清掃剤(研磨剤)や発泡剤が無配合の ものや最小限におさえた(低研磨・低発泡)ものなどさまざまな タイプがあります。

- ◆ ハミガキ剤にはさまざまな効能・効果が あります。(医薬部外品)
 - むし歯を防ぐ 歯石の沈着を防ぐ
 - □臭を防ぐ
 - 歯周病(歯肉炎・歯周炎)を防ぐ
 - 歯を白くする など

※有効成分によって、効能・効果が異なります。

お口の状態などに合わ せてお選びください。

